



小学6年生全員を対象にした霞ヶ浦遊覧について



古沢喜幸 議員

【質問】 土浦市に愛着を持ってもらいたい、霞ヶ浦をきれいにしたいという思いを募らせるためにも、小学6年生全員に霞ヶ浦遊覧の機会を与えることについて伺う。

【教育長】 子どもたちが土浦市のシンボルである霞ヶ浦を遊覧して、霞ヶ浦にじかに触れることは、環境保全の意識を高める意味でも大きな価値があると考えており、現在、小学校4年生を中心として霞ヶ浦をテーマにした環境学習を行っている。また、陸上で見る土浦と湖上から眺める土浦ではまさしく違い、新たな土浦の発見となり、今までになく見方で郷土を再発見する感動や驚きは、郷土土浦を大切に思う気持ちにつながるものと考えている。郷土との積極的で主体的な関わりを育てる上で、4年生を中心としてこの学習を進めてまいりたい。

（掲載以外の質問事項）

- ・高齢者対象の中心市街地のアンケート実施について
- ・水道事業について
- ・滝田町に埋められた産業廃棄物について



ホワイタイリス号

東日本大震災を受けて、今後の災害時対応（災害時要援護者を除く弱者対策）について



海老原一郎議員

【質問】 高齢者世帯や、避難所まで遠く交通手段がなく、避難所に行けず、停電で暖房も使えず、また給水にも行けず自宅に我慢していた本宅に困った方たちなどの災害弱者を、市ではどのように把握しているのか伺う。

【総務部長】

要援護者支援制度への登録は、普段は介護をする方と一緒に暮らしている方や、通常は援助を必要としない高齢者世帯の方なども登録できることになっており、広報紙等で周知を図っているものの、登録は任意であることから、普段援助を必要としない方々の登録は非常に少ないのが現状であるので、今後さらに要援護者支援制度の周知に努めてまいりたいと考えている。また、今回の震災で、避難所に避難できずに自宅にとどまった方などの人数については、把握できていない。

（掲載以外の質問事項）

- ・自主防災組織の強化について
- ・土浦市災害ボランティアセンターについて



情報発信強化（コミュニティFM放送局開設について）



平石勝司 議員

【質問】 全国の自治体で、コミュニティFM開設に向けた動きが増加傾向にあるが、土浦市でも、コミュニティFM局を開設して、地域に密着した情報を提供し、市のイメージアップや地域の活性化に役立てるとともに、緊急時の災害情報などの速報を受信でき、情報の地域格差が解消できるコミュニティFM局を導入することは重要と考えるが、見解を伺う。

【市公室長】

コミュニティFM局は、災害時における情報発信手段の1つとして活用されているが、平常時の運営費やスタッフの確保という課題が顕在化しているようである。本市でも、過去にコミュニティFM局の開設について検討をしたものの、実現には至らなかった経緯がある。したがって、市から災害時支援情報等の発信について

議会を傍聴してみませんか

詳しくは、議会事務局へ

インターネットの場合は、「土浦市議会事務局」と入力して検索してください。「土浦市議会ホームページ」→「傍聴」で詳しくお知らせしております。

電話 029(826)1111 内線 2277
FAX 029(826)3379

（掲載以外の質問事項）
は、当面は防災行政無線や広報車による巡回、広報紙、市ホームページ、安心・安全情報メールなどにより対応を図ってまいりたいと考えているが、災害時におけるコミュニティFM局の活用については、今後調査研究を進めてまいりたい。